



とある教会

悪魔よ
この者の身体から
立ち去りなさい

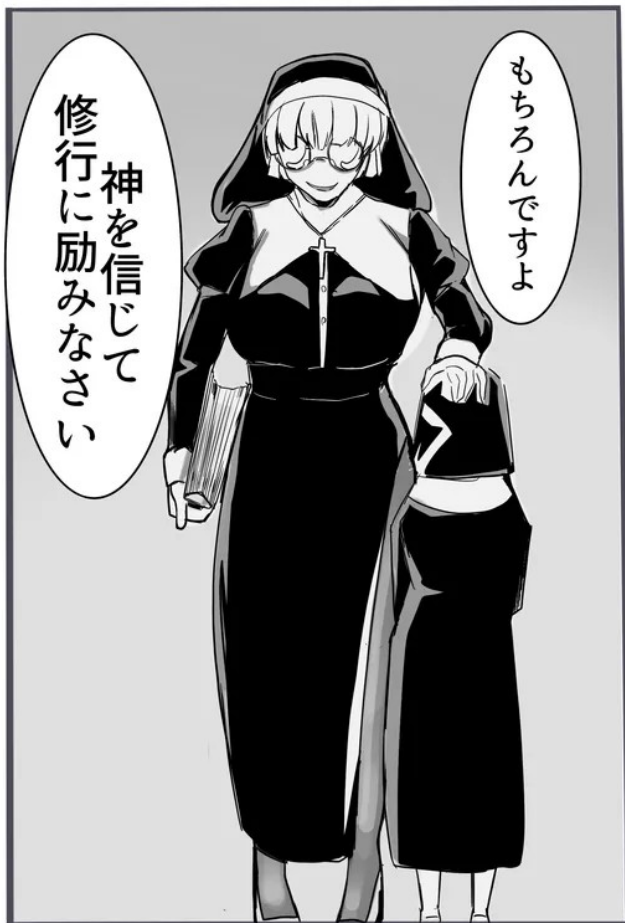
さもなくば
神の力が汝を
滅す

修道女
クリスティーナ

大人しく
冥界の闇へと
帰りなさい

ぐっああ・・・

ゴッ
キ



流石ですね
取り憑いた悪魔を
いとも容易く払ってしまおうとは

司祭
ジョーカー

近隣の村や街でも
貴方の活躍は評判だそうで

わたくしの様な若輩者が
その様な過分な評価を

恐れ入ります

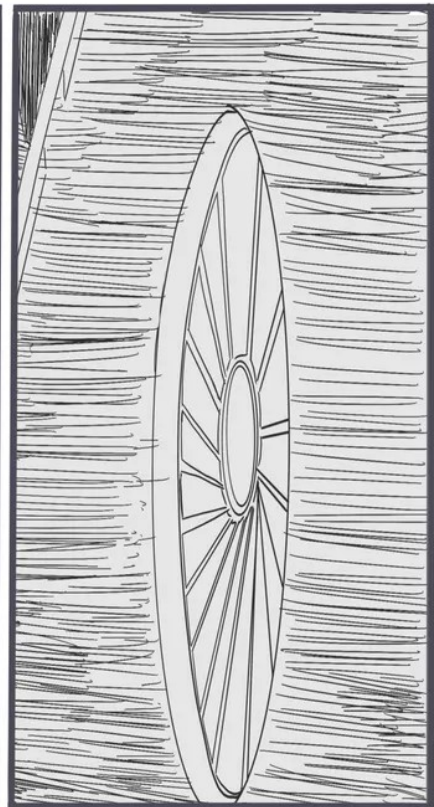
貴方の活躍もあって
最近悪魔憑きの相談も
減ってきました

人々の心に安心と
頼れる拠り所があり

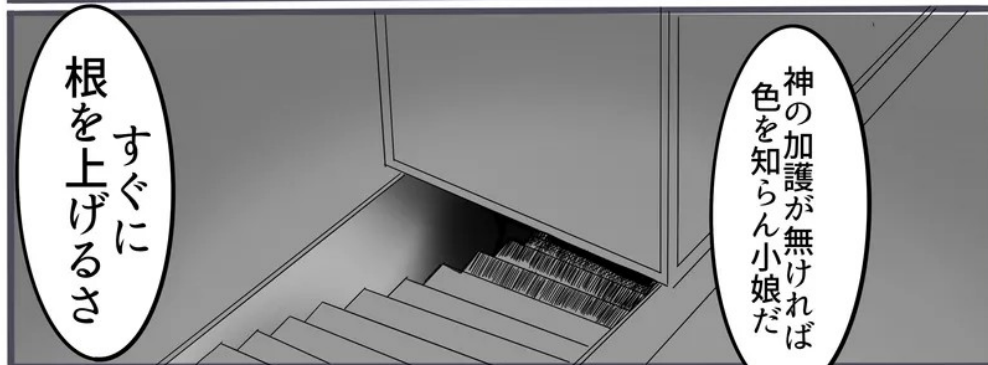
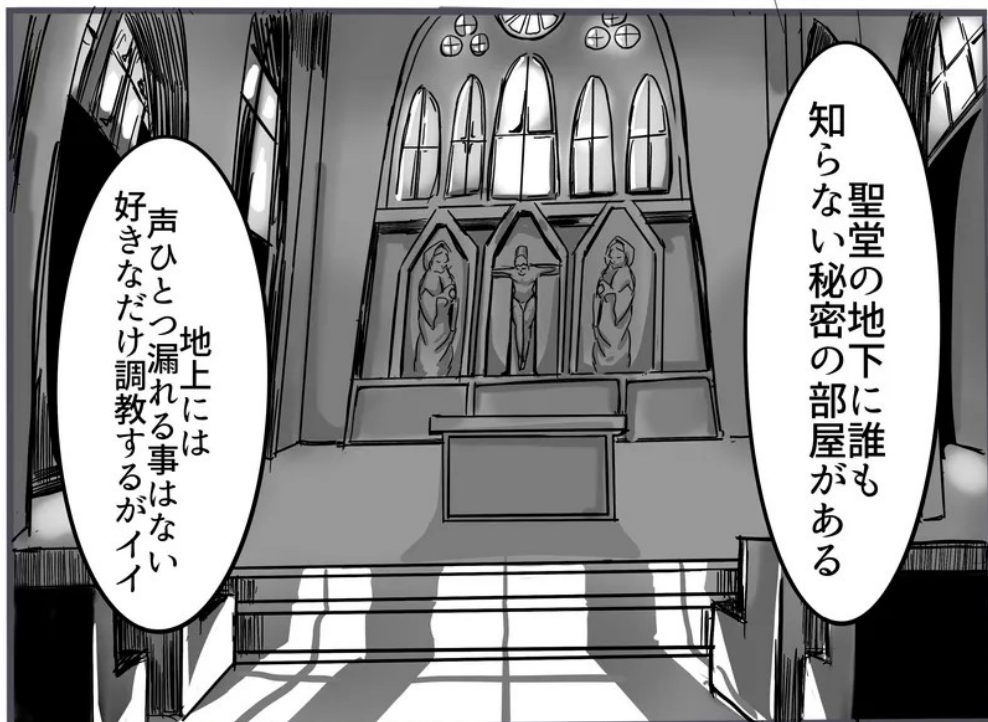
悪魔も人に
取り憑きにくくなって
いるのでしよう

人々が健やかな日々を
遅れる様

頑張っていきましょう







とんだ司祭が
いたもんだな

世も末だぜ

お互い
持ちつ持たれつ

神も悪魔も

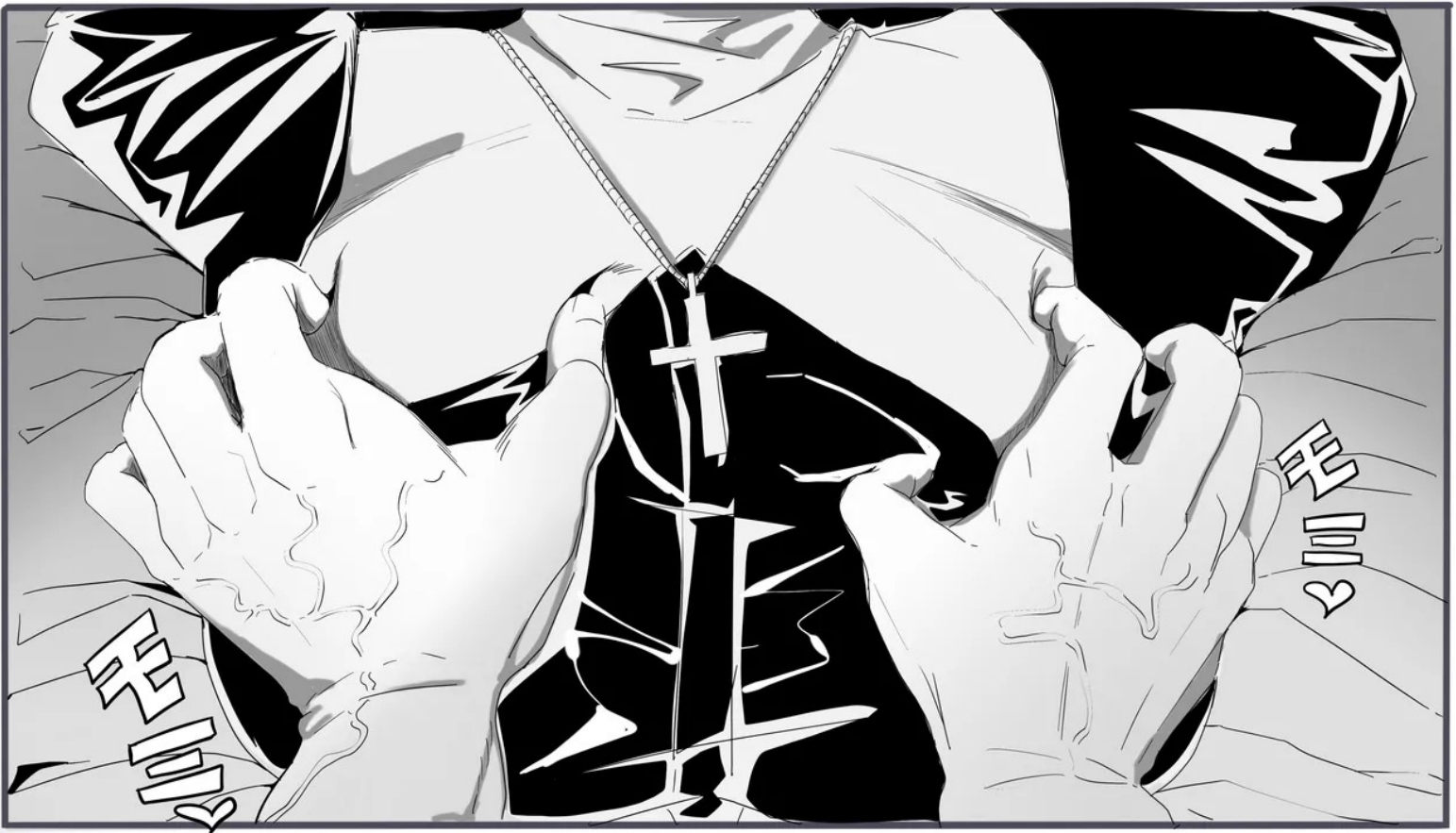
助け合い
なのだよ

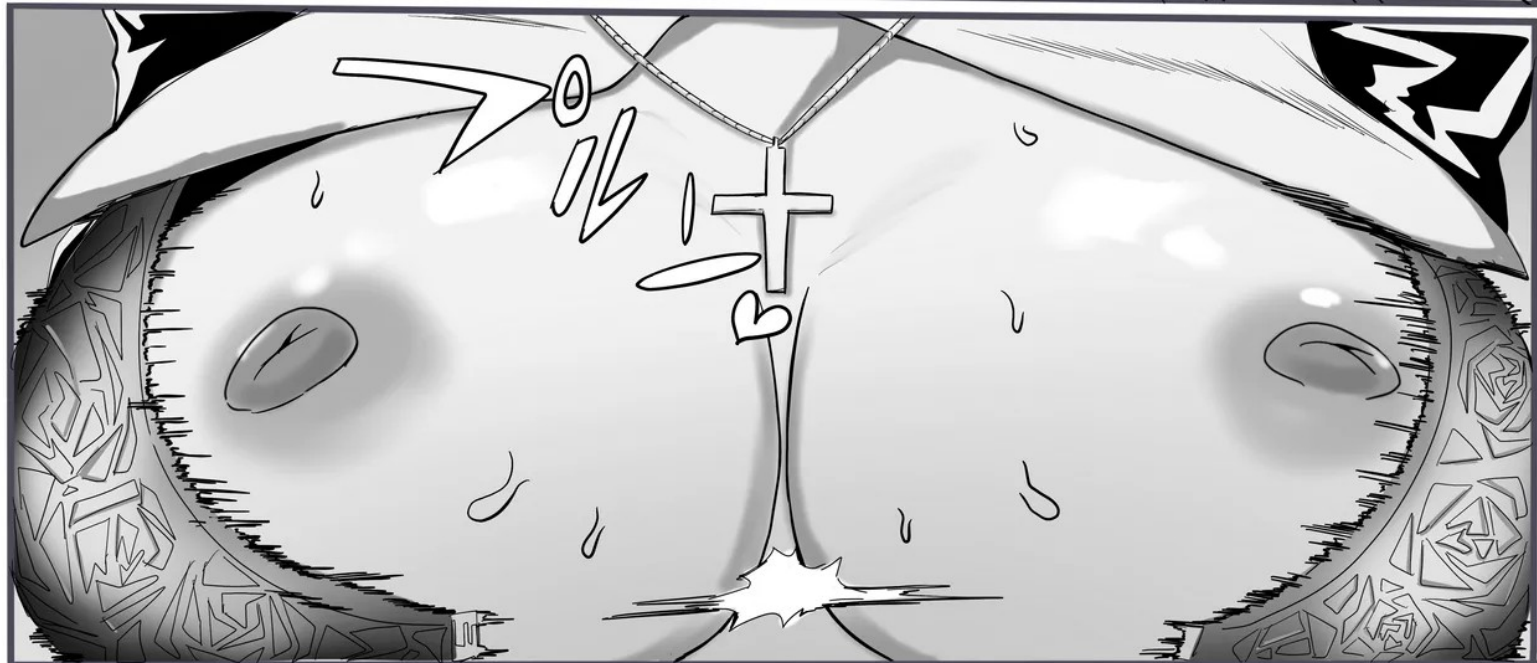
神の加護を
封じる鎖か

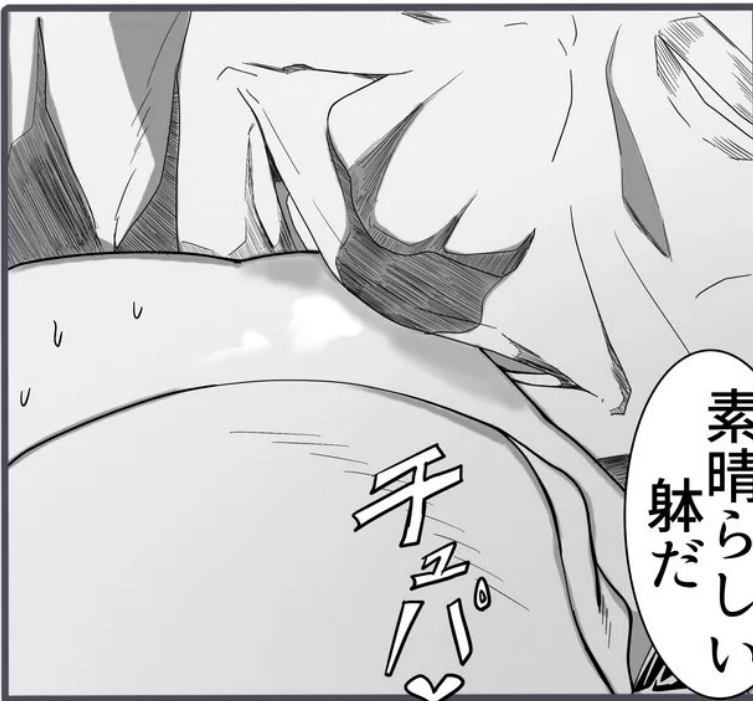
あの爺い
どっからこんなモンを

まあいいかは
これでコイツは
無力な女だ

じっくり
味わってやる



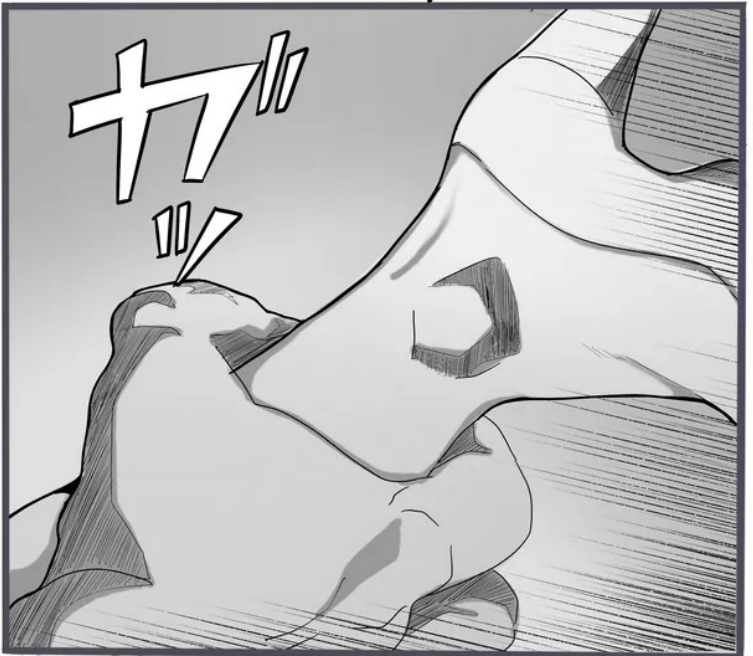




素晴らしい
躰だ

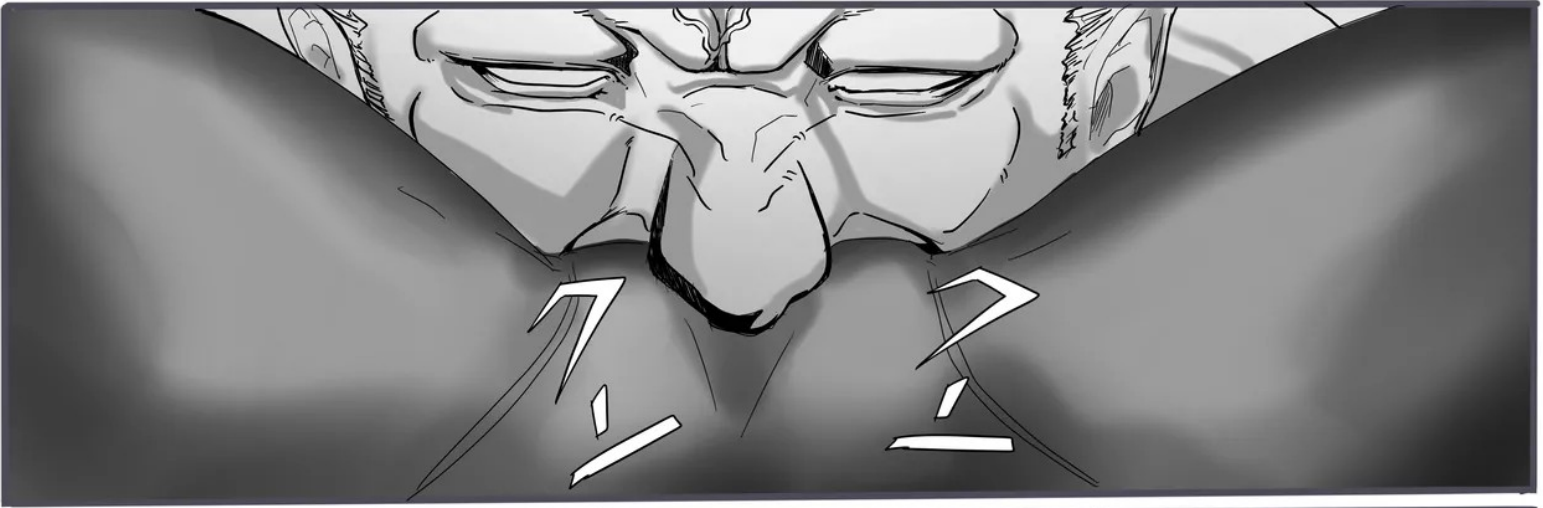


想像以上に

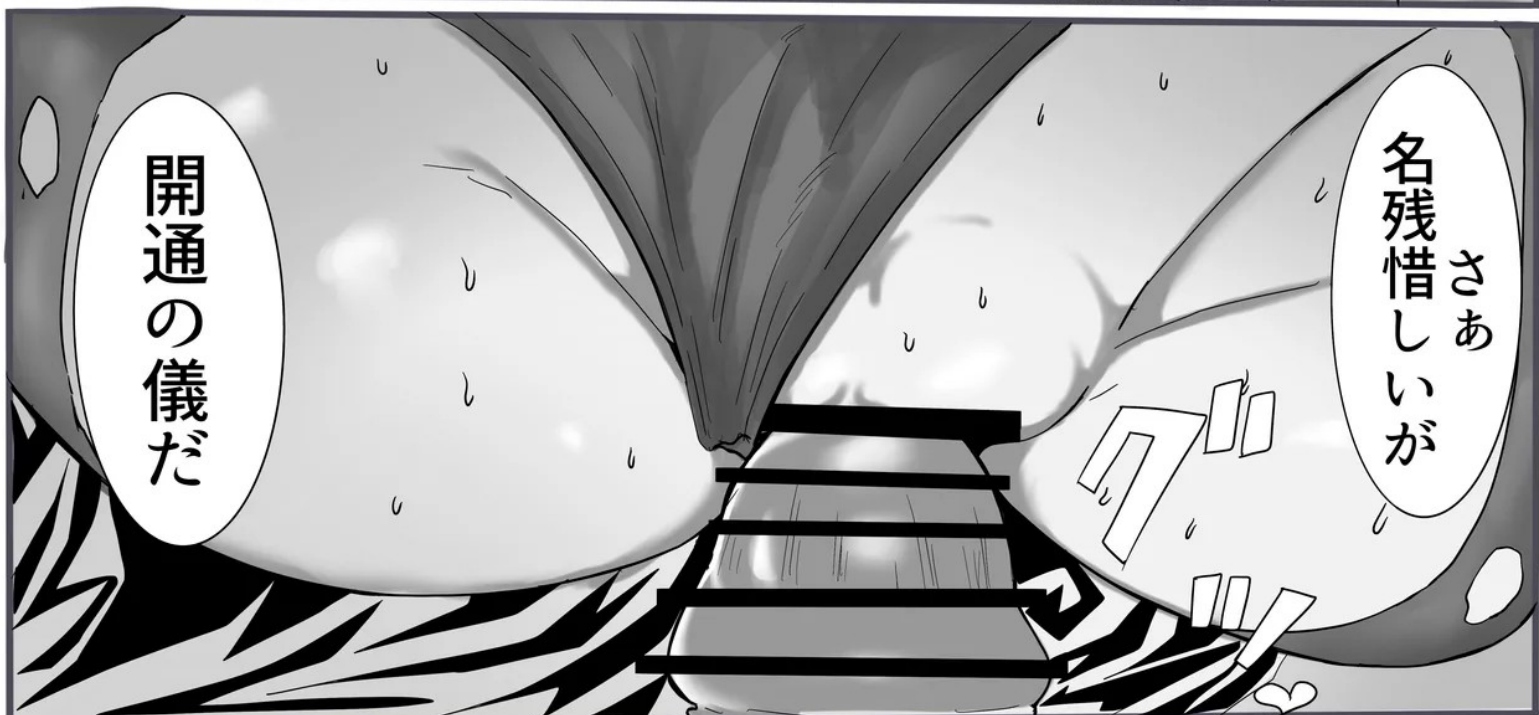
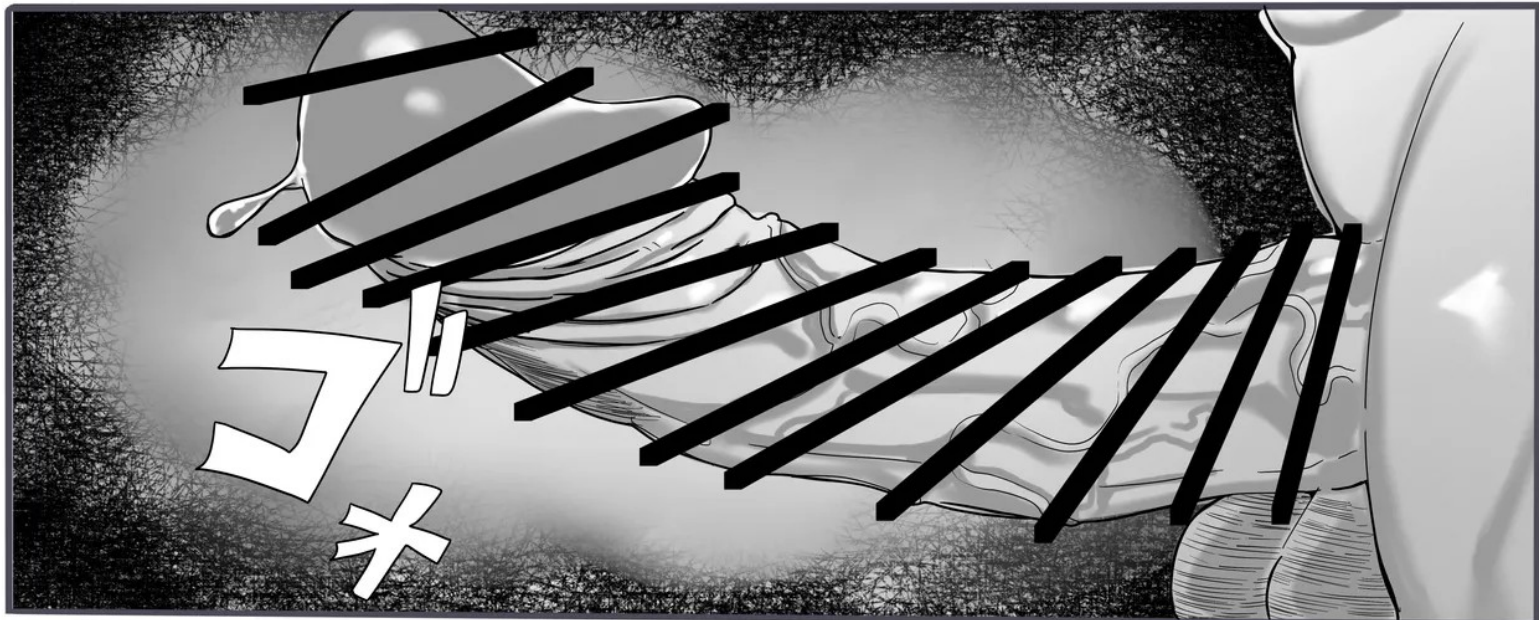


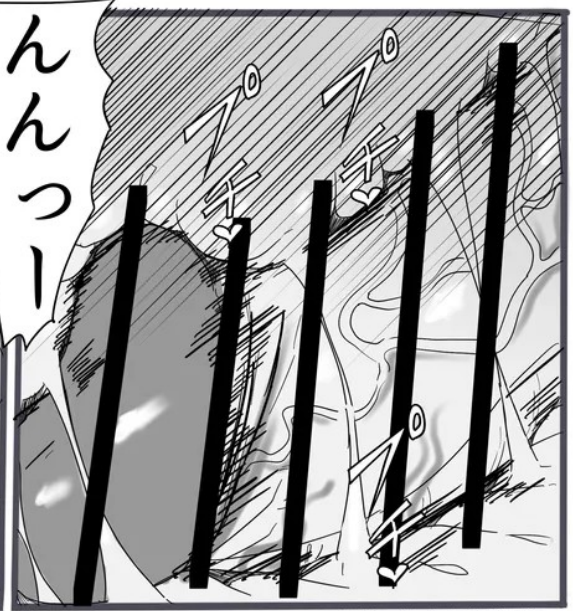
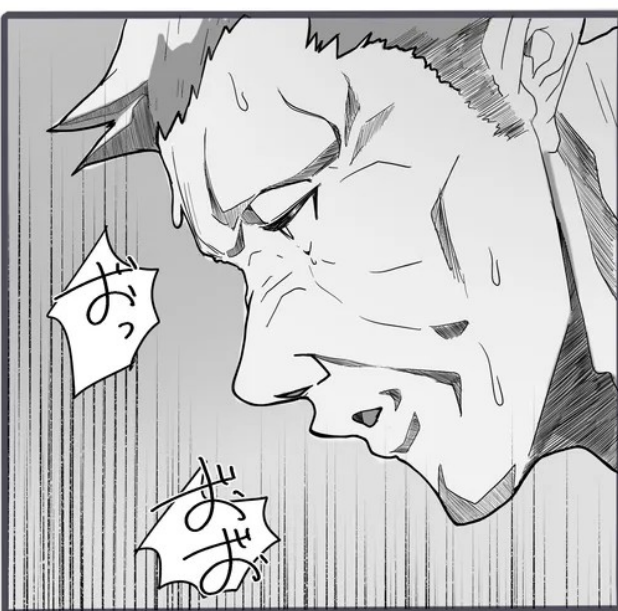
ムンムン
するぜ

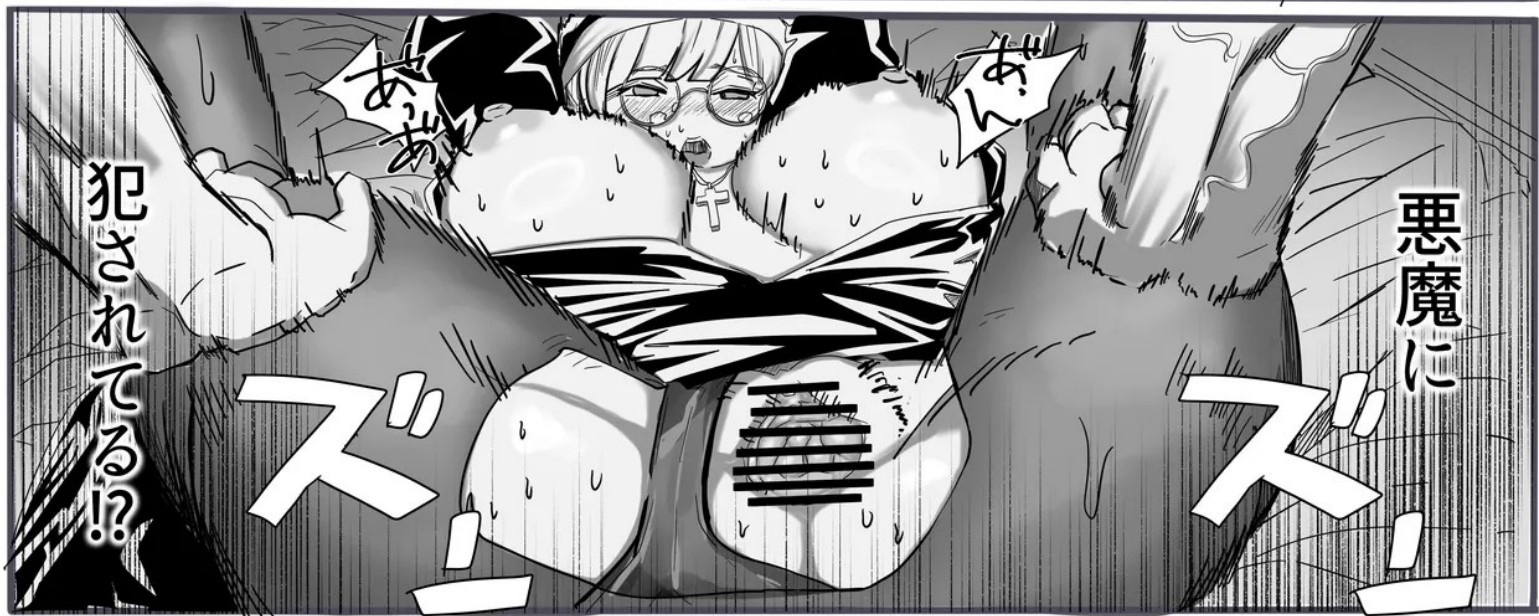
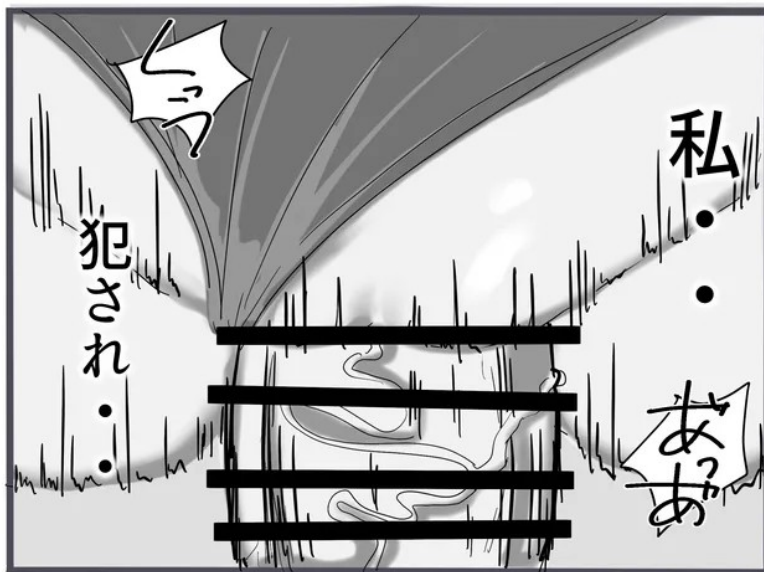
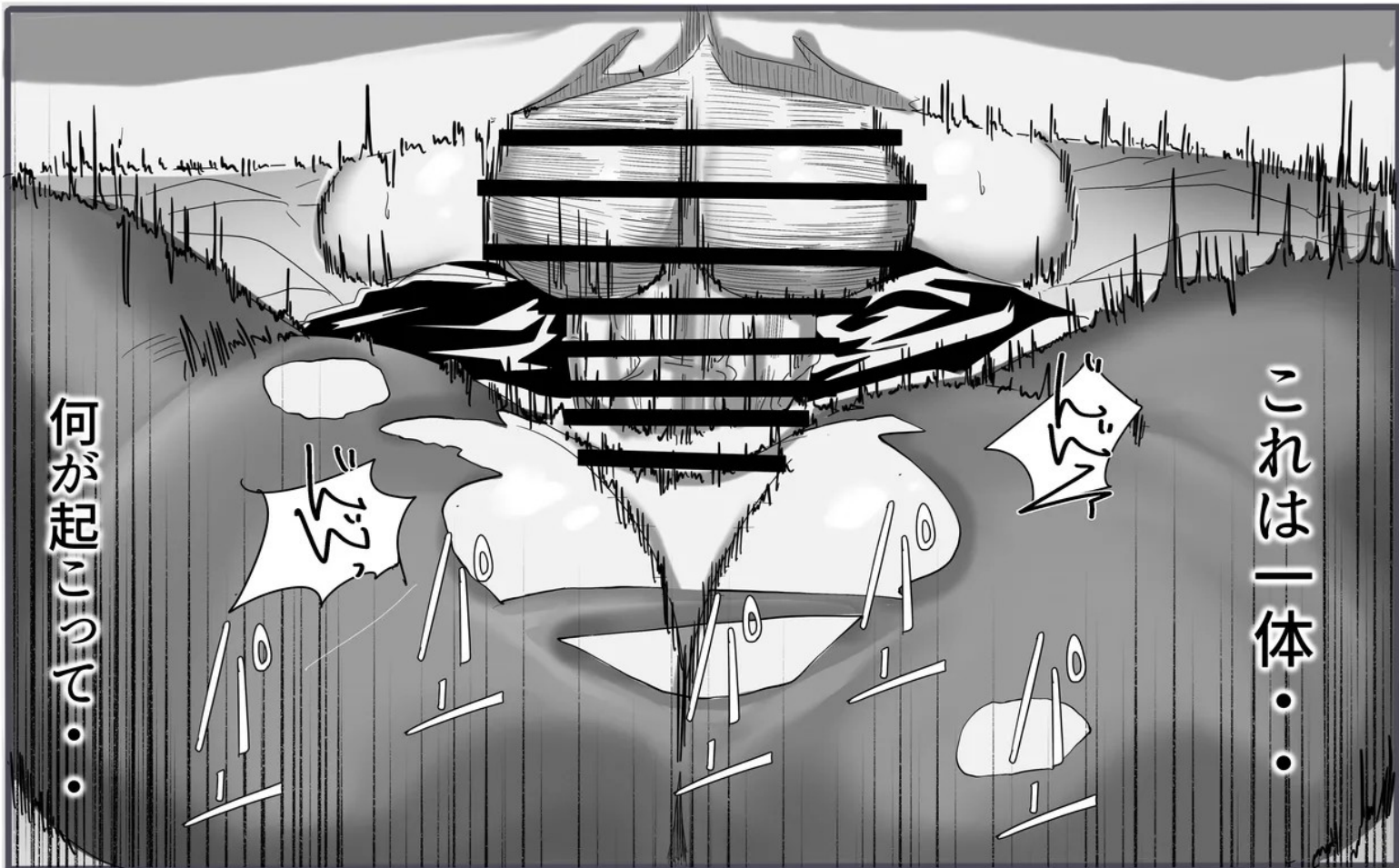
メスの匂いが

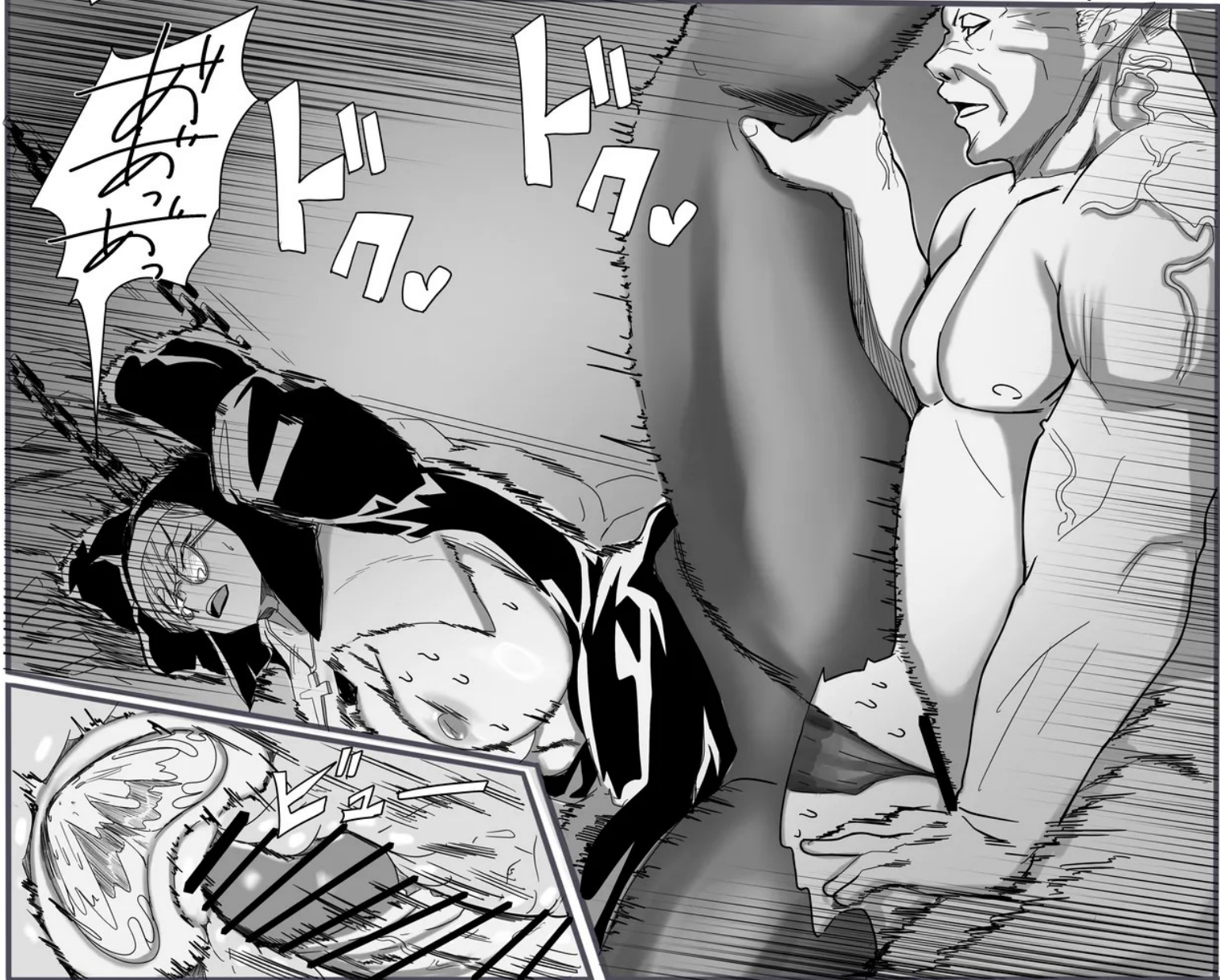
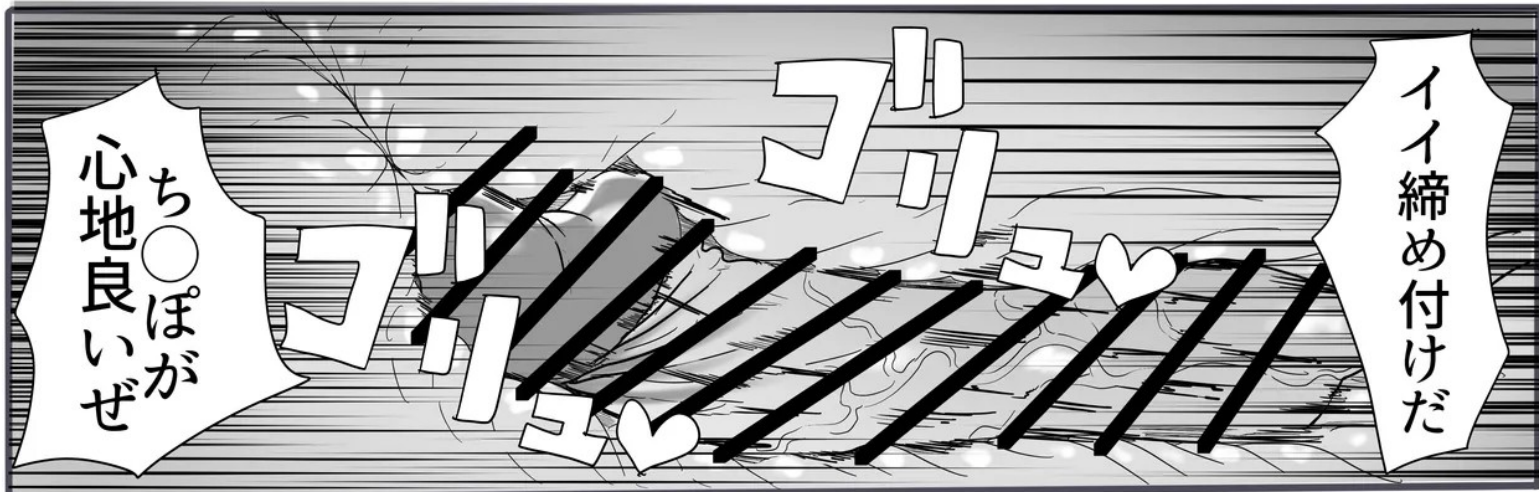


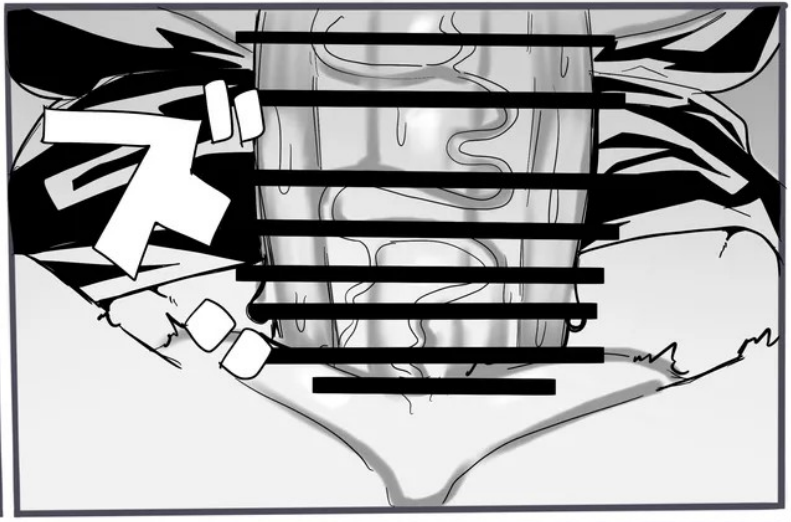
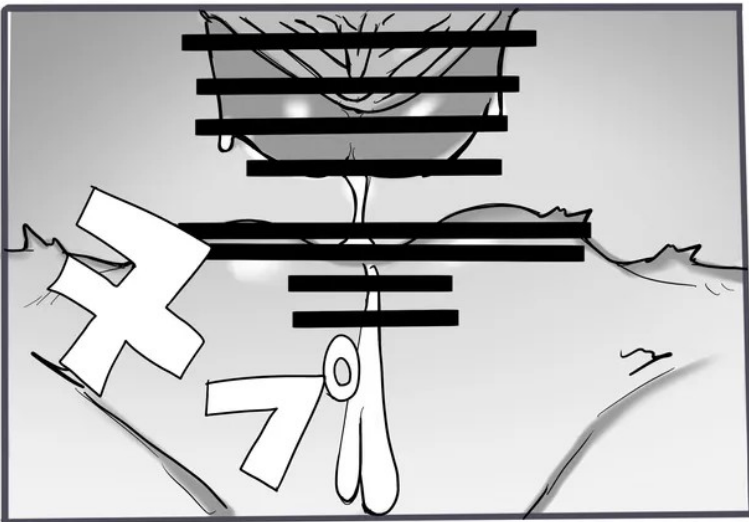












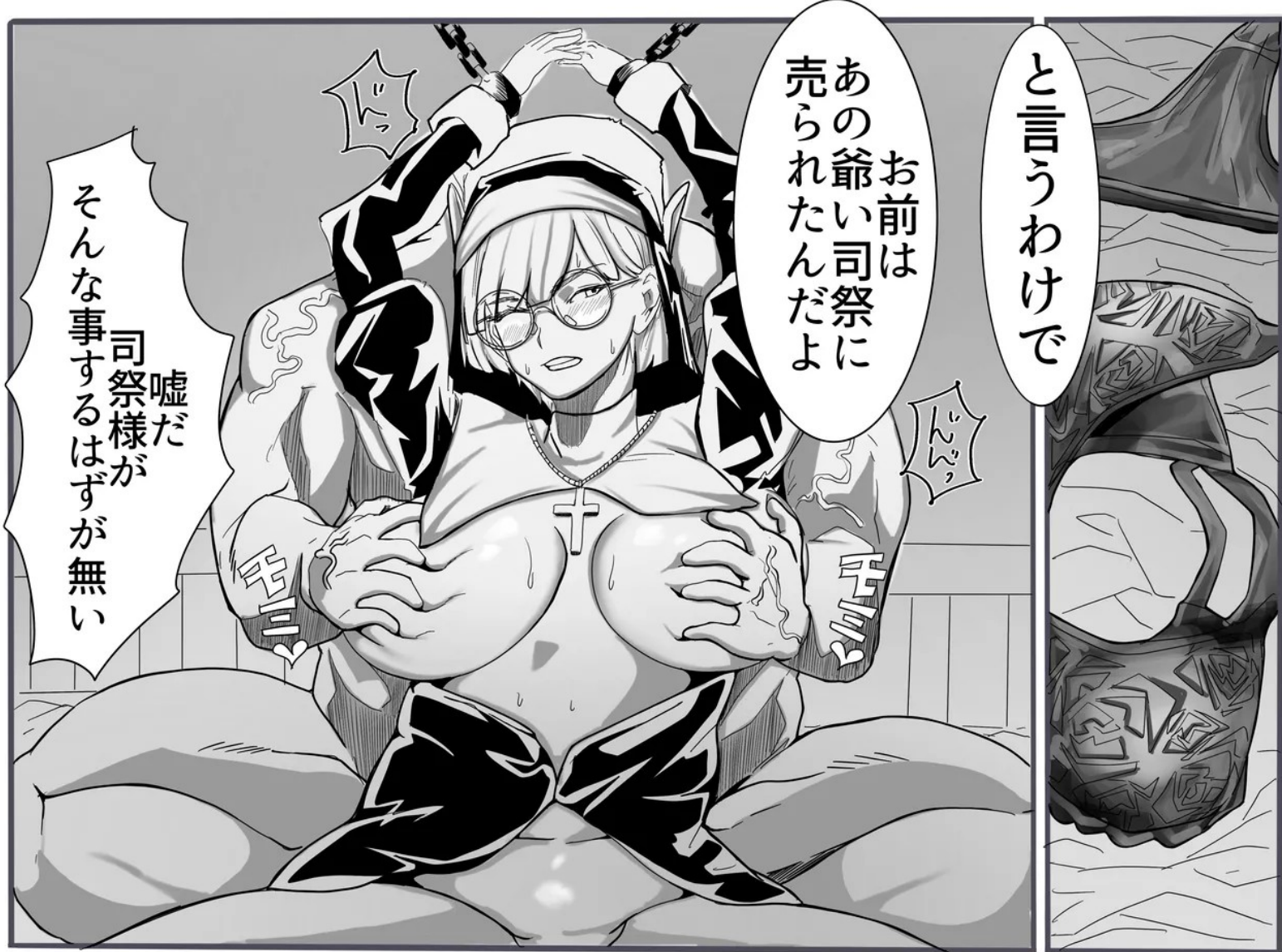
おつと自己紹介が
まだだったな

さて気分はどうだい
シスタークリス



俺様は
インキュバス

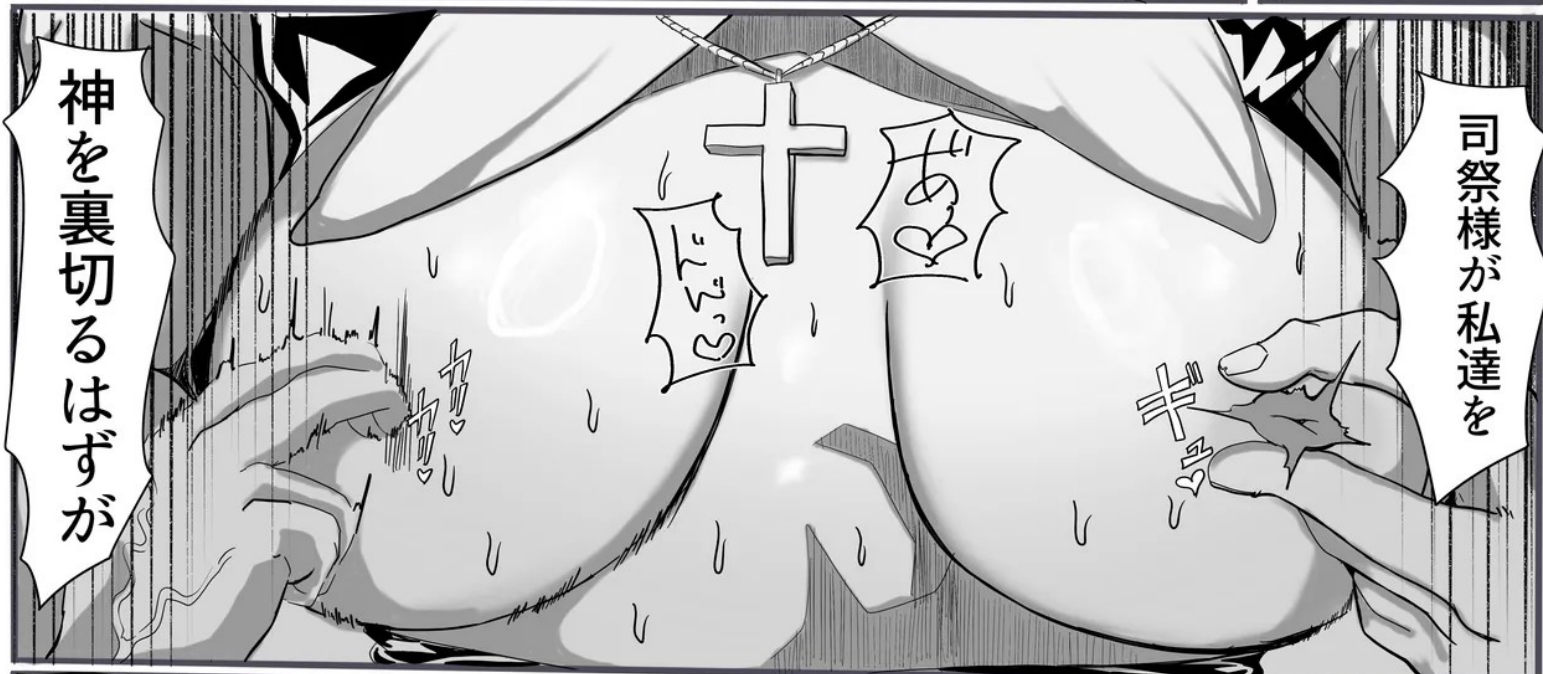
よろしく



と言うわけで

お前は
あの爺い司祭に
売られたんだよ

嘘だ
司祭様が
そんな事するはずが無い



司祭様が私達を

神を裏切るはずが



そんな事

ある訳が・・・



まあ信じるも
信じないもお前の自由だ

俺様はお前の躰が
抱ければそれでイイ



この鎖が
神の加護を封じて



くっこんな
低級悪魔に

いい様に
されるなんて



大丈夫。
きつと助けは来る

それまで
耐えるんだ



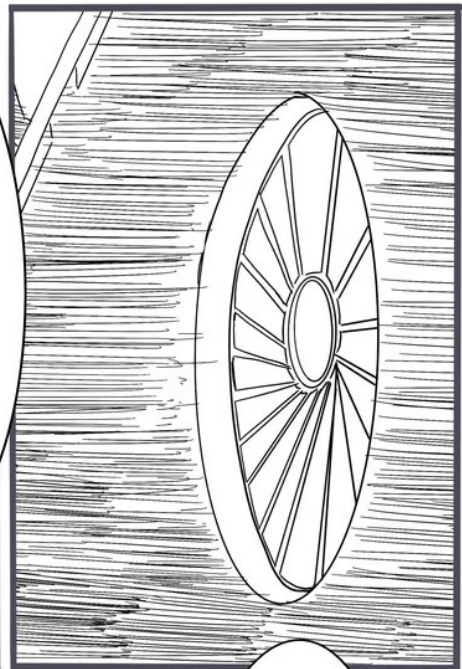
今シスタークリスには
特別な仕事をしてもらっています

とても重要な
お仕事です

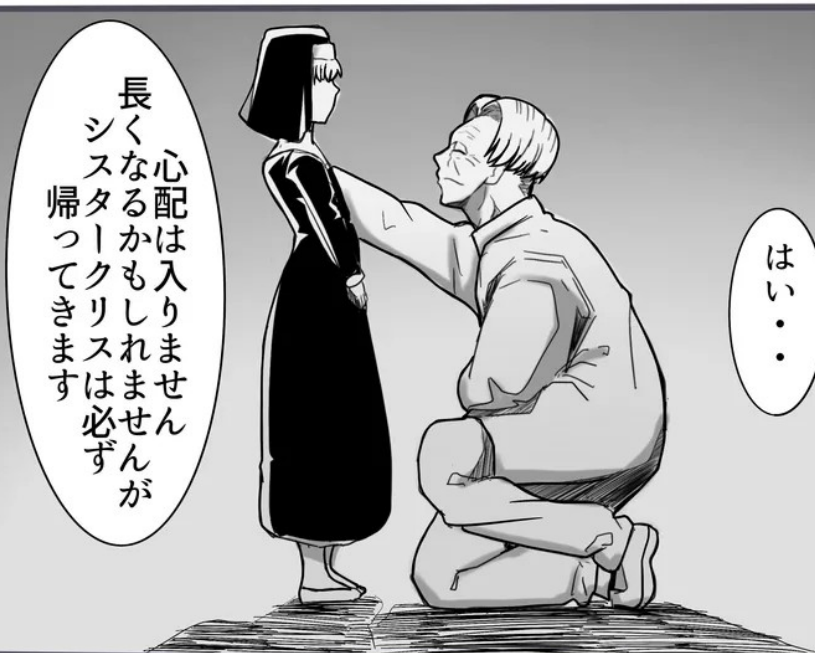


司祭様
お姉様は何処に
行かれたのでしょうか？

今朝からお姿が
見えないのですが・・・



信じて
ともに
待ちましょう



心配は入りません
長くなるかもしれませんが
シスタークリスは必ず
帰ってきます

はい・・・

ティファニア
貴方はシスタークリスを
姉の様にしていたってましたね



どれくらい
かかりますかねえ

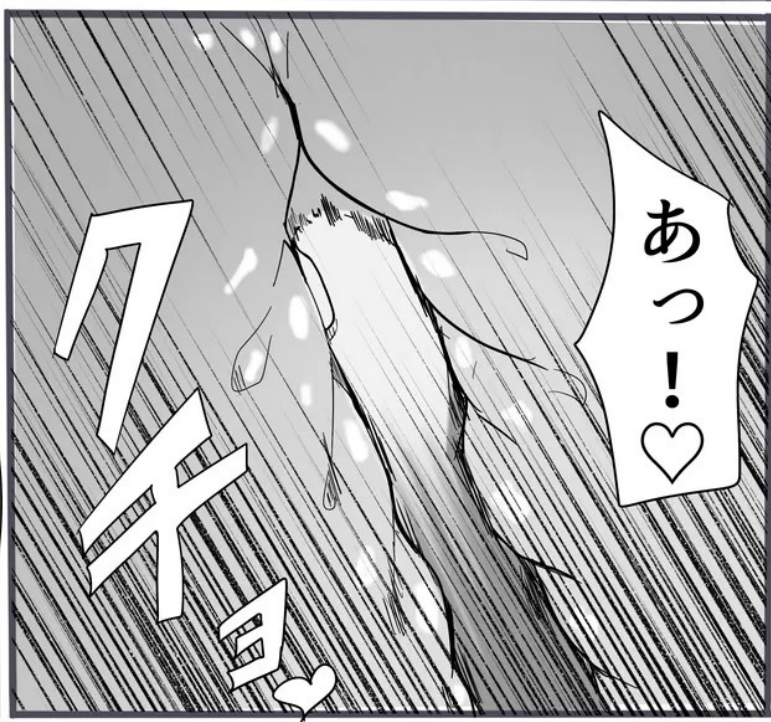


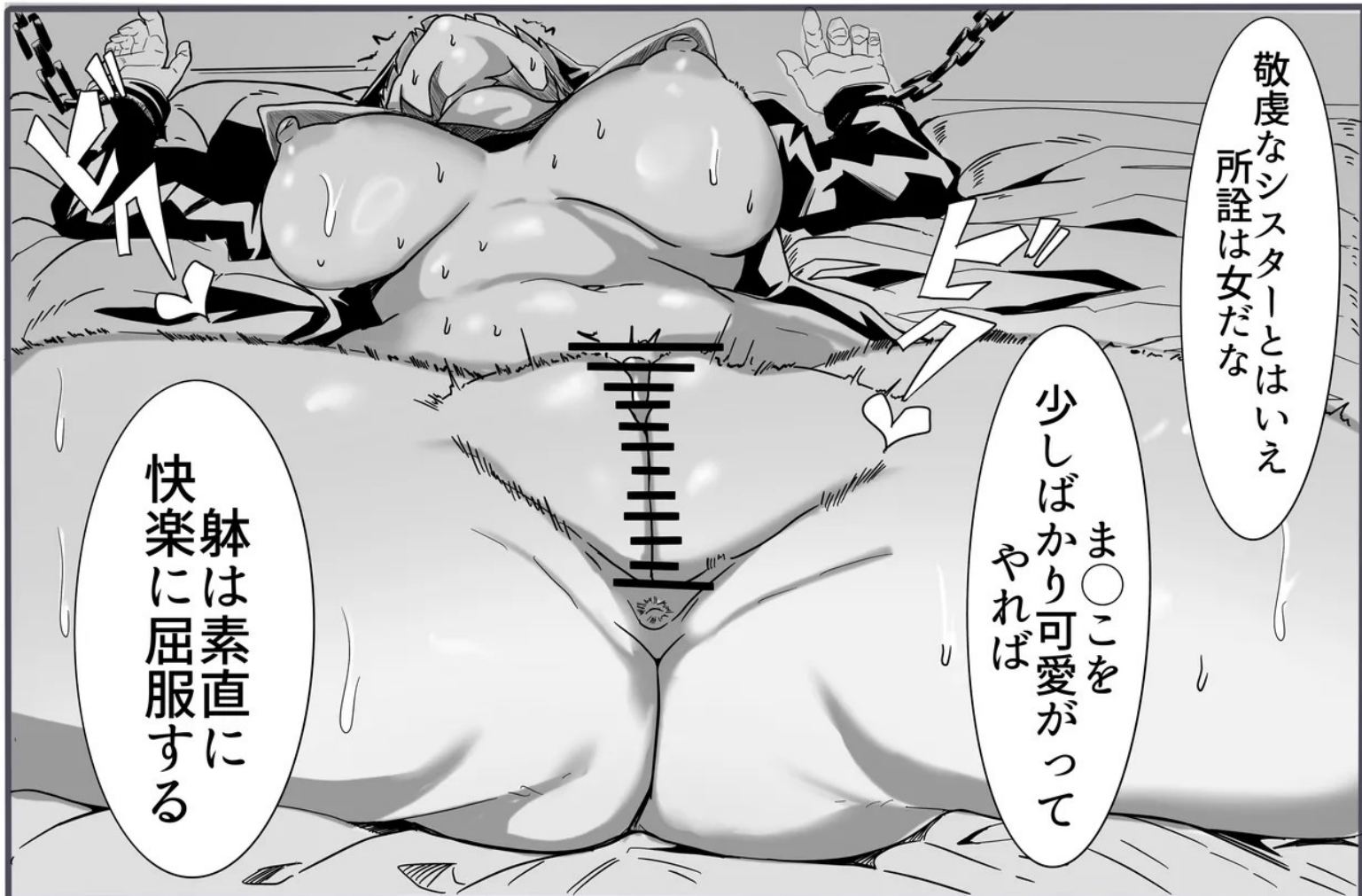
そうですねえ・・・



どれくらい
待てばいいのでしょうか？









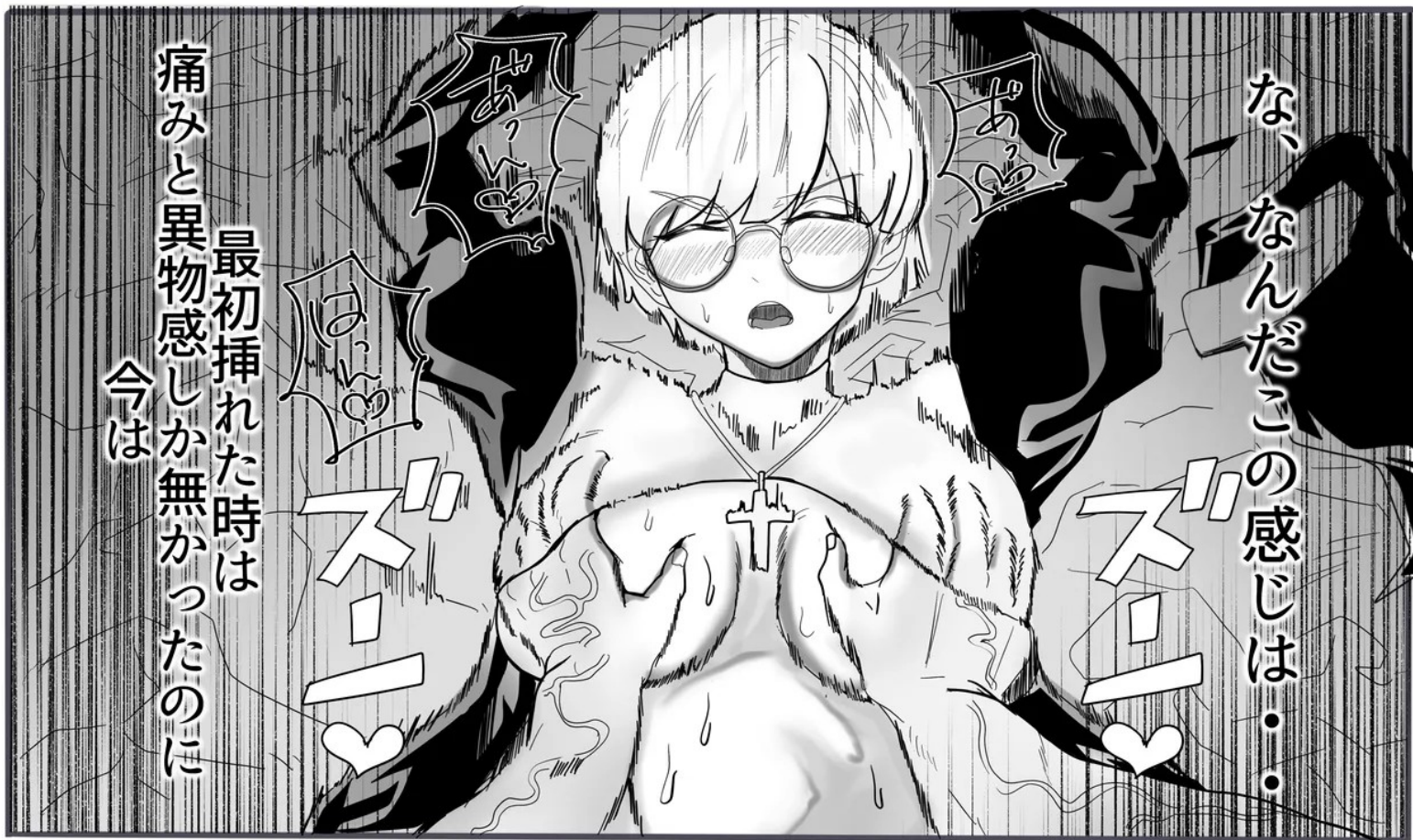
ま○こは素直に受け入れたなあ

ほあ

ほあ

ち○ぽやはり躰は いる証拠だ

ふざけるな 今すぐ抜け!











クリステイーナ

んんっ♡

グ



何も恐れる必要は無い
悪魔はお前の敵では無い

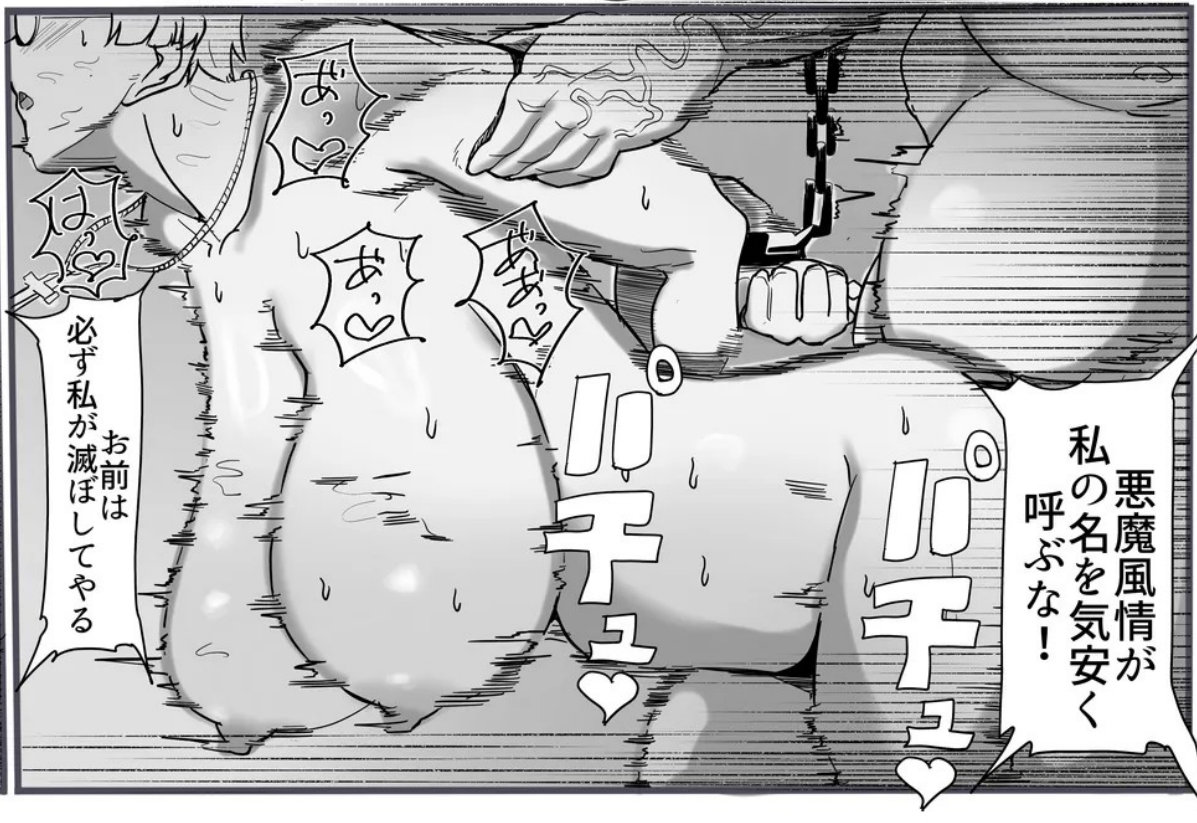
固く閉ざした心を
開くんだ

ズ

ズ



必ずだ!

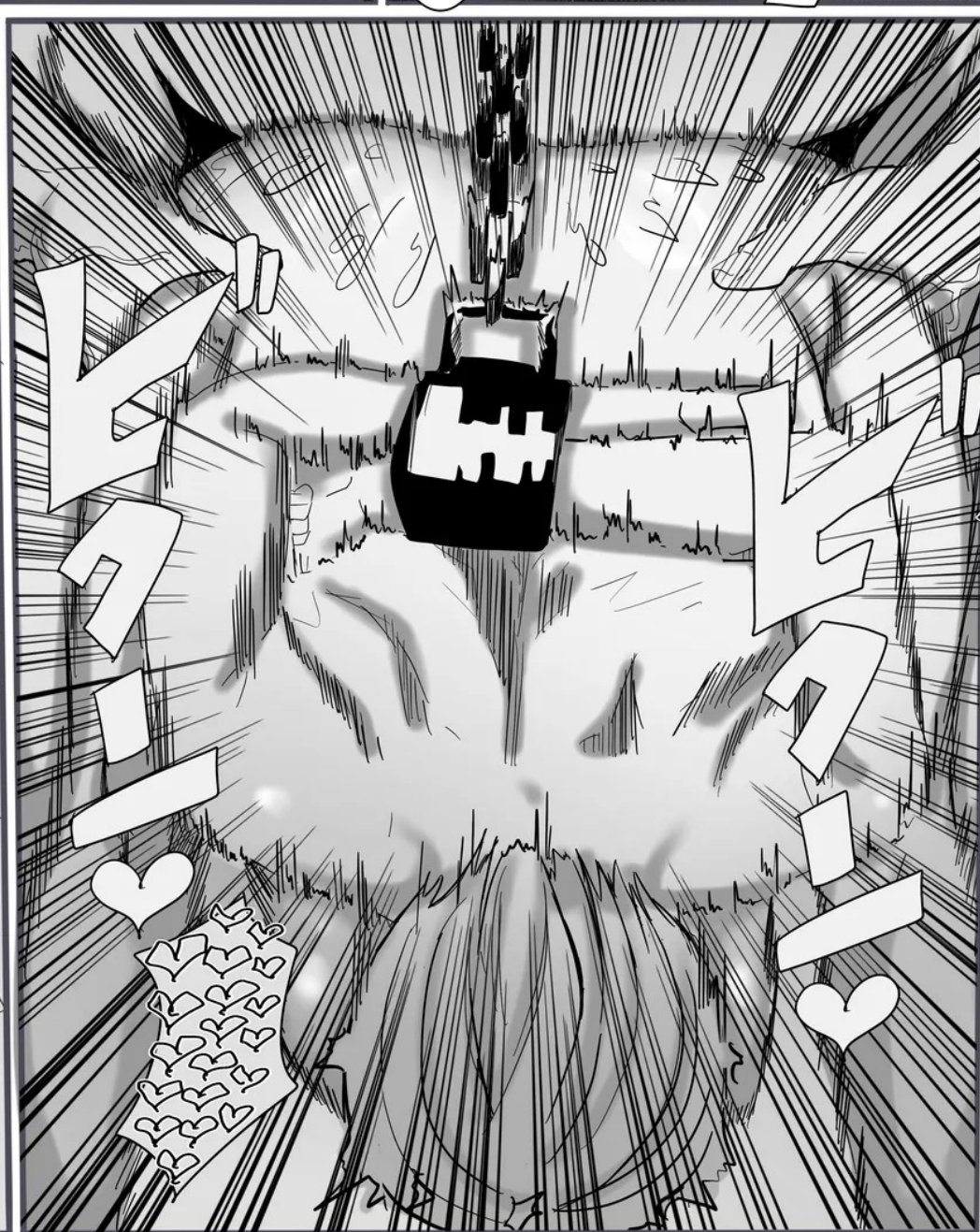
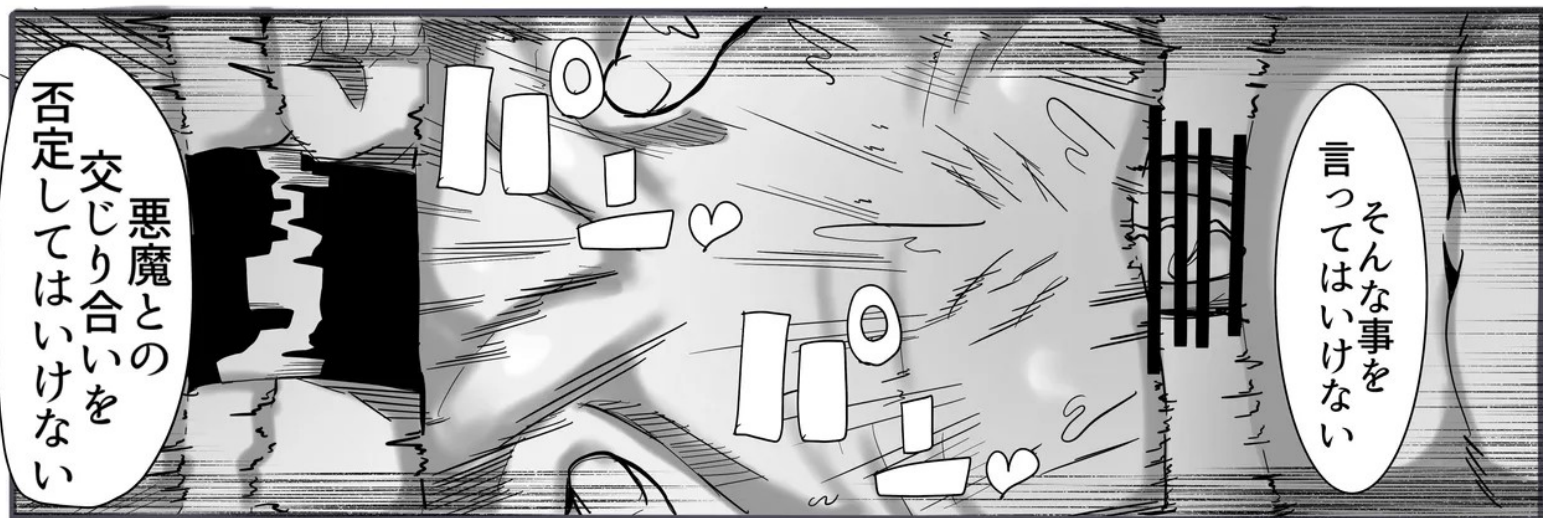


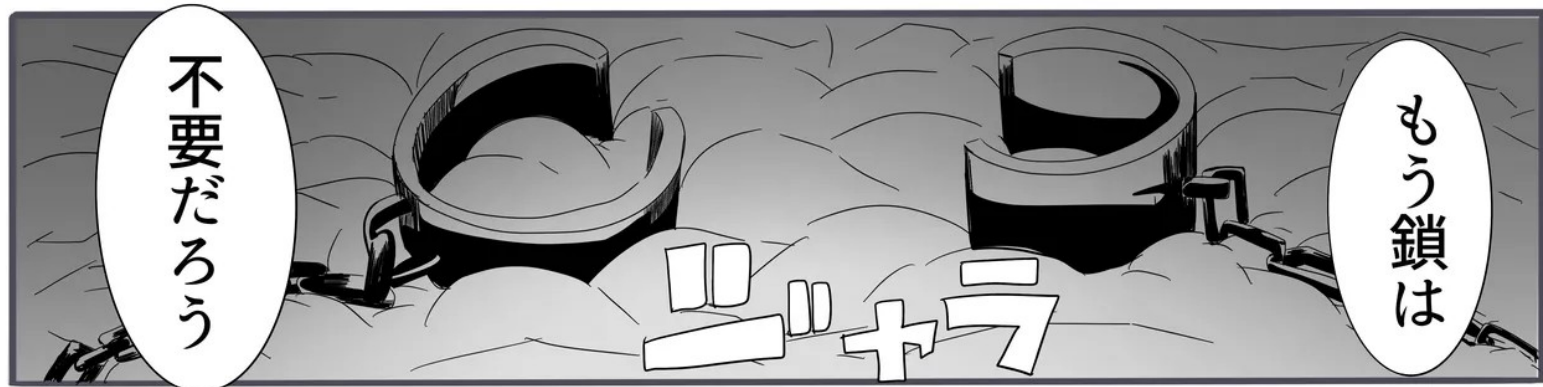
悪魔風情が
私の名を気安く
呼ぶな!

お前は
必ず私が滅ぼしてやる

ルチュ♡

ルチュ♡





もう鎖は

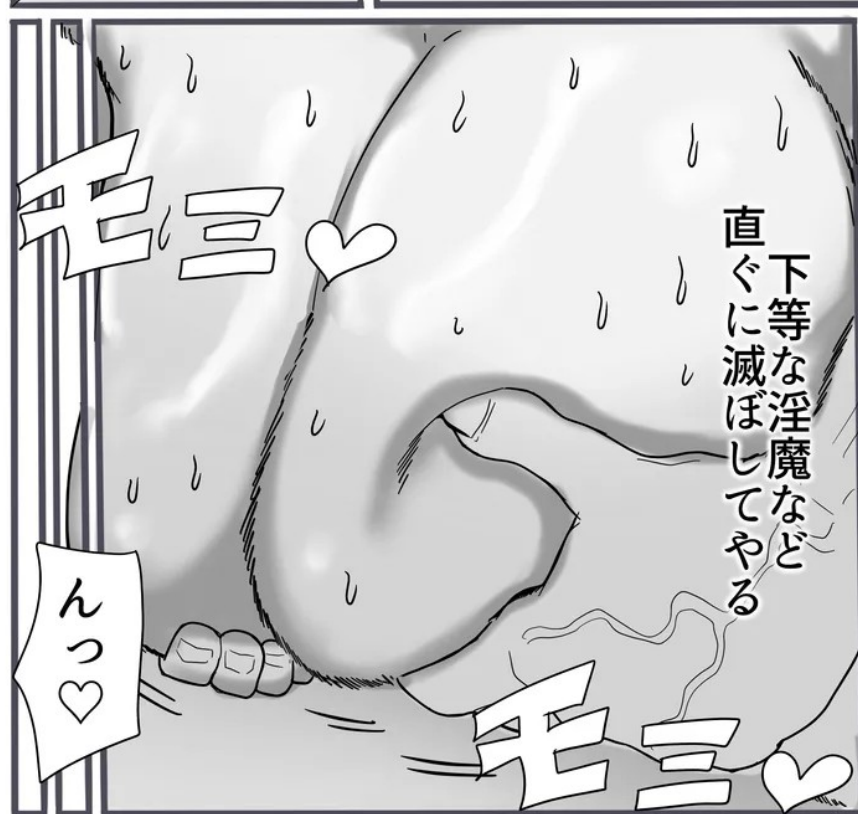
不要だろう



もうお前は自由だ
クリスティーナ

ここからは
俺様と存分に
交じり合おうじゃないか

トロ



下等な淫魔など
直ぐに滅ぼしてやる

毛三

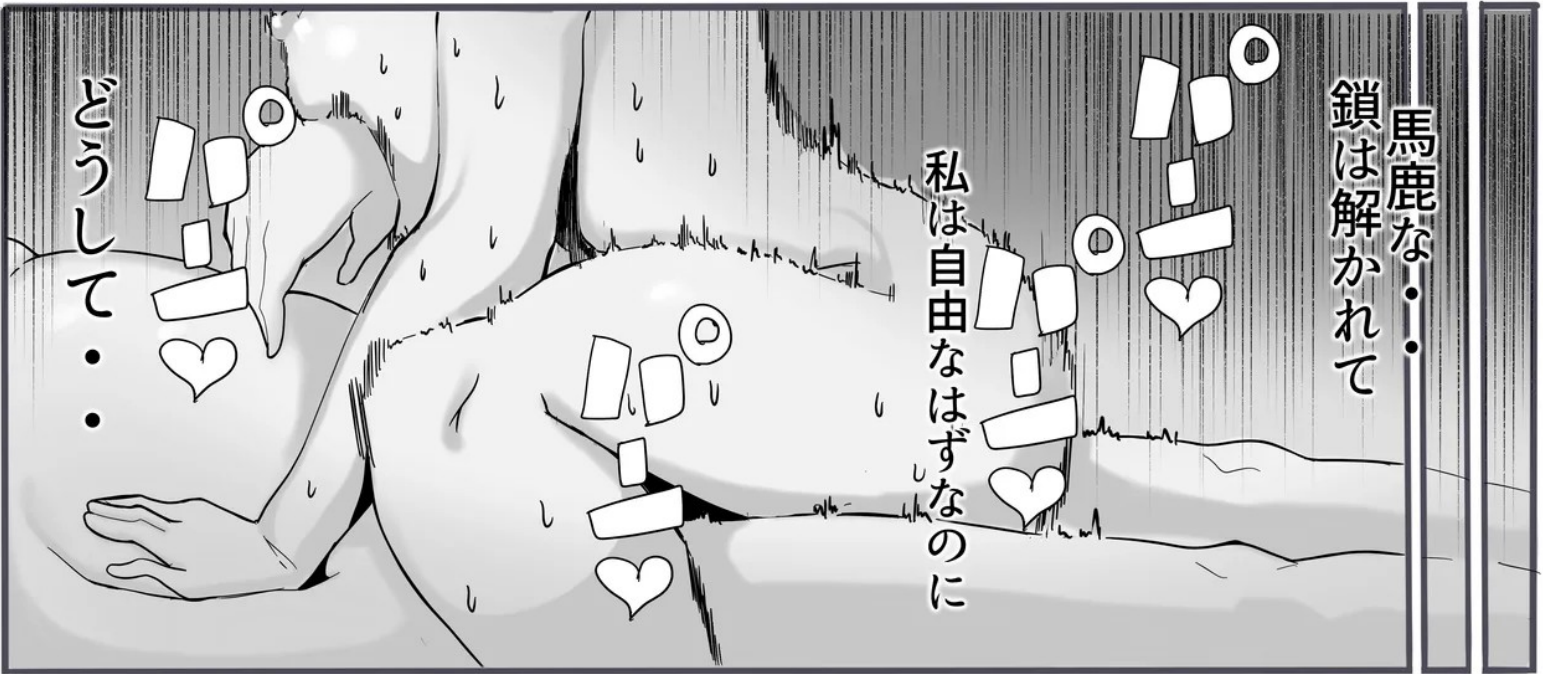
毛三

んっ♡



バカめ油断したな
肉欲などに堕ちるものか

ここから
反撃を



馬鹿な・・・
鎖は解かれて

私は自由なはずなのに

どうして・・・



自ら悪魔に跨がり
腰を振っている・・・

嘘だ・・・
こんなの私の意思
じゃない

きつと悪魔が
妙な術を私にかけて・・・



だめだ♡
気持ちいいので

頭の中が
真っ白に♡

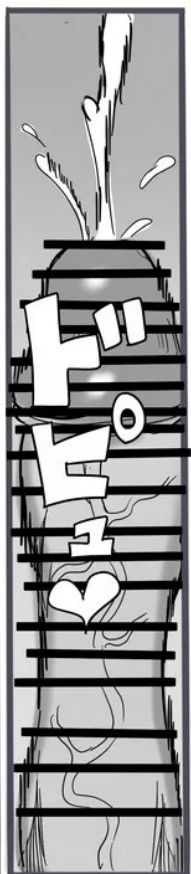
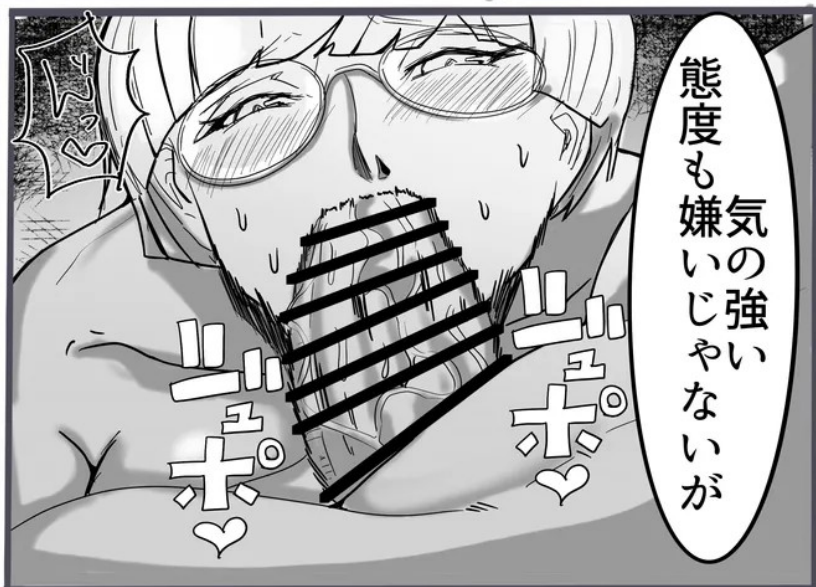
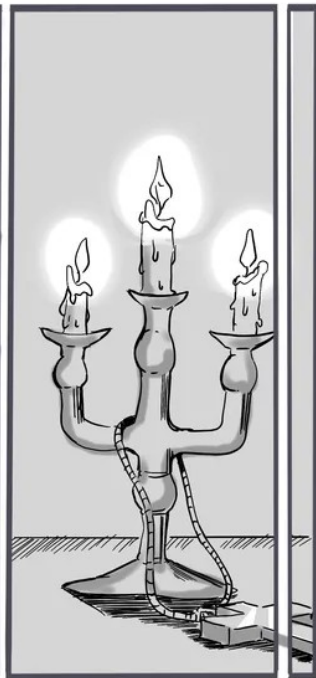
何も考えられない♡



イキところに
当たる♡

くっ♡





いイぞ
だいぶ男の喜ばせ方が
わかって来たじゃないか

はぁ♡

はぁ♡

はぁ♡

俺様が
見込んだ通り

モミ♡

デブ♡

ゴロ♡
ゴロ♡

お前は優秀な女だ

クリステイーナ



今後も悪魔に使え

はぁ♡

はぁ♡

奉仕をするなら

極上の快楽を

お前に約束しよう

ト♡
ト♡
ト♡

ゴロ♡
ゴロ♡



神を捨て俺様と契約しろ

悪魔

これから
悪魔崇拝者として
悪魔にその身と魂を
捧げると

宣言するがイイ

ち、誓います♡

悪魔様にこの身と魂
私の全てを捧げます♡

私、クリステイナは
インキュバス様の女になります

神よ申し訳ありません

おち○ぽが気持ち良すぎて♡

パチュニ♡

パチュニ♡

逆らう事など
できません♡

お許しください♡

んんっ♡

クチュ♡

グッ♡

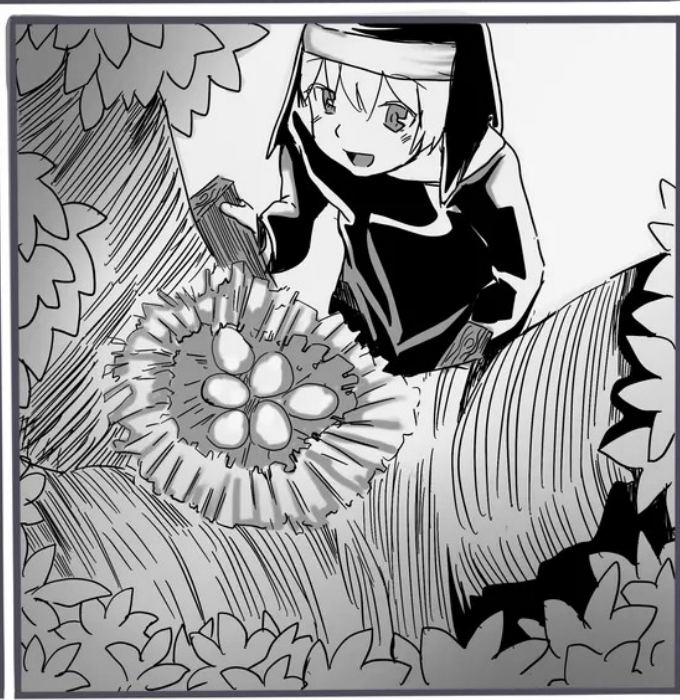
我が配下クリステイナよ

お前には俺様悪魔の子を
孕んでもらう

それが悪魔崇拝者としての
最初の仕事だ

かしこまりました
インキュバス様♡

産ませていただきます♡
悪魔の子を♡

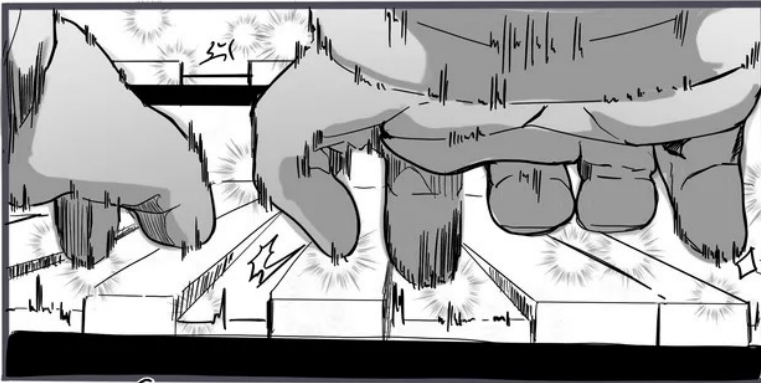


数ヶ月後

それでは皆さん
世界の平和と

祈りを込めて

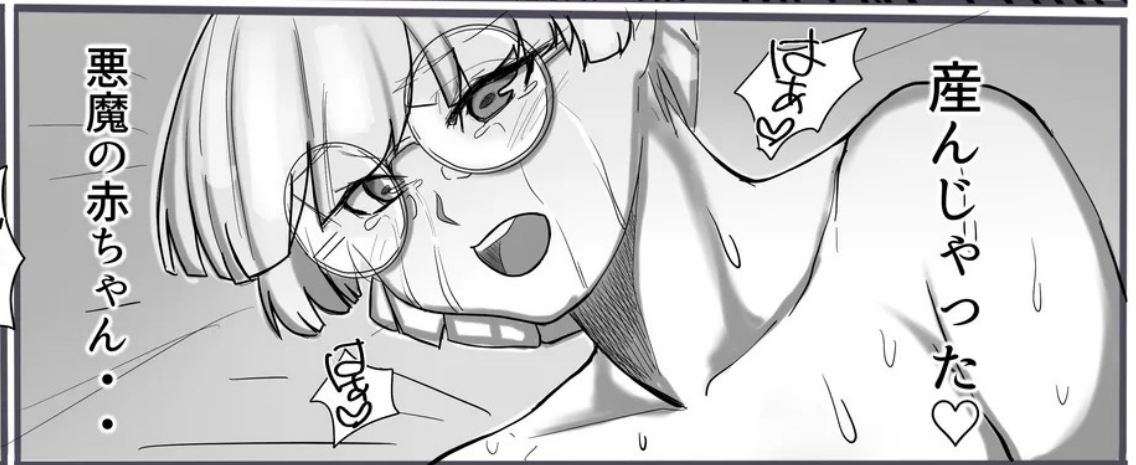
謳いましょう



悪魔の赤ちゃん
産んじやいます♡♡

う、産まれます♡







本当ですか!?
司祭様

シスタークリスが
仕事を終えて
教会に帰還するそうです



ティファニア
良い知らせがあります



彼女は立派に
お役目を果たしたそうです

ええ本当ですよ



早く会いたいな♡

流石はお姉様です♡

続

